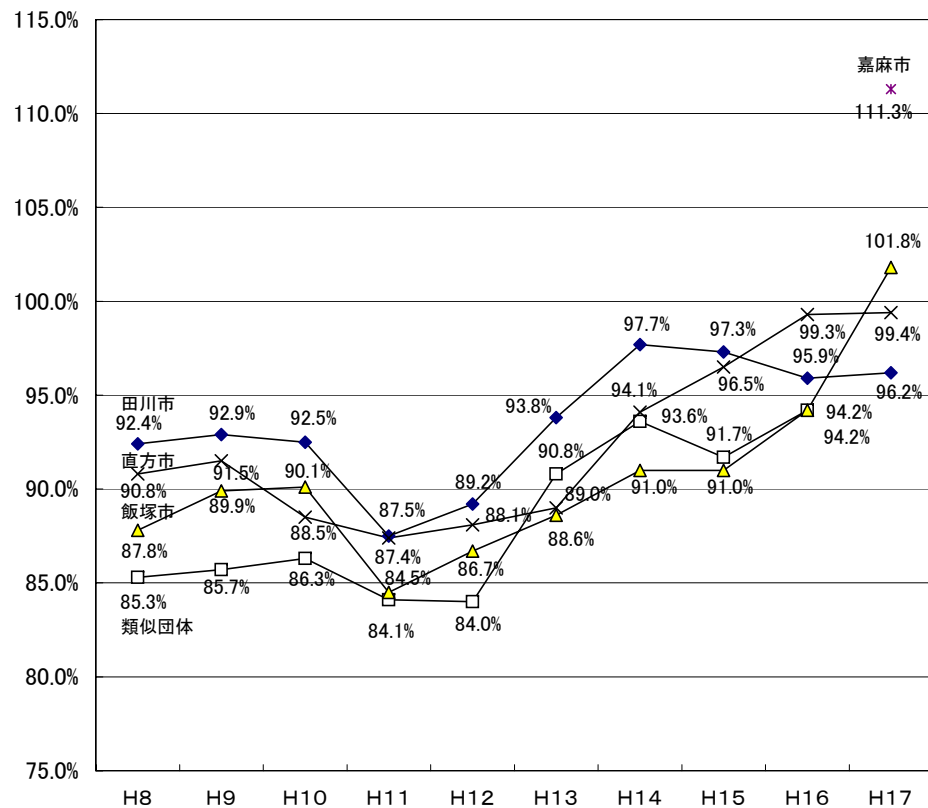
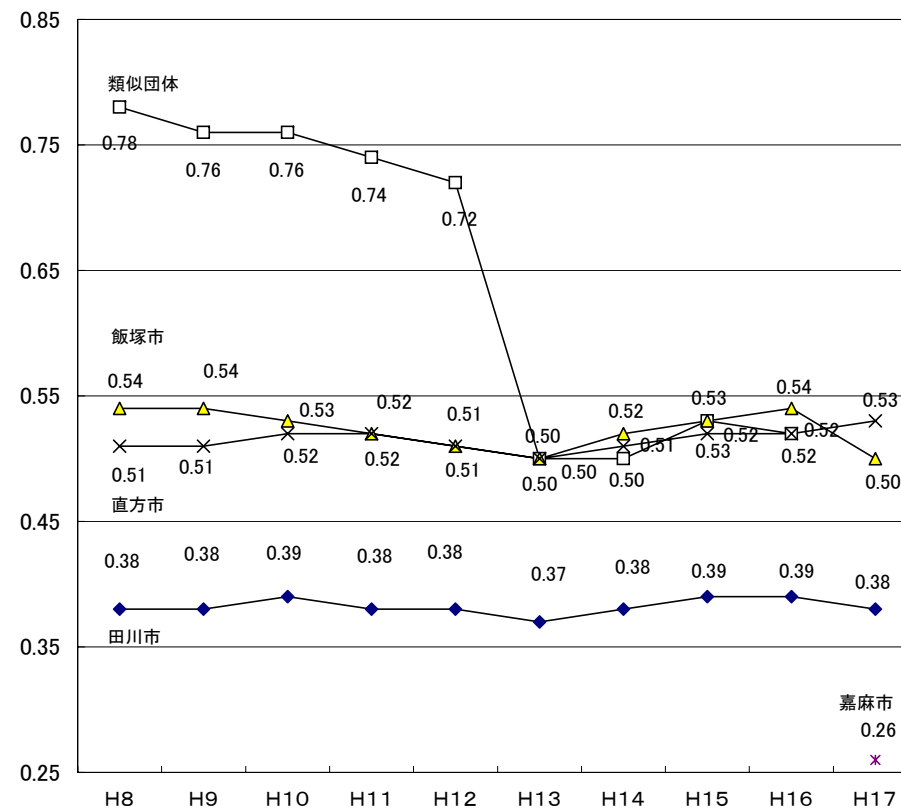


※(参考資料)

経常収支比率の推移



財政力指数の推移

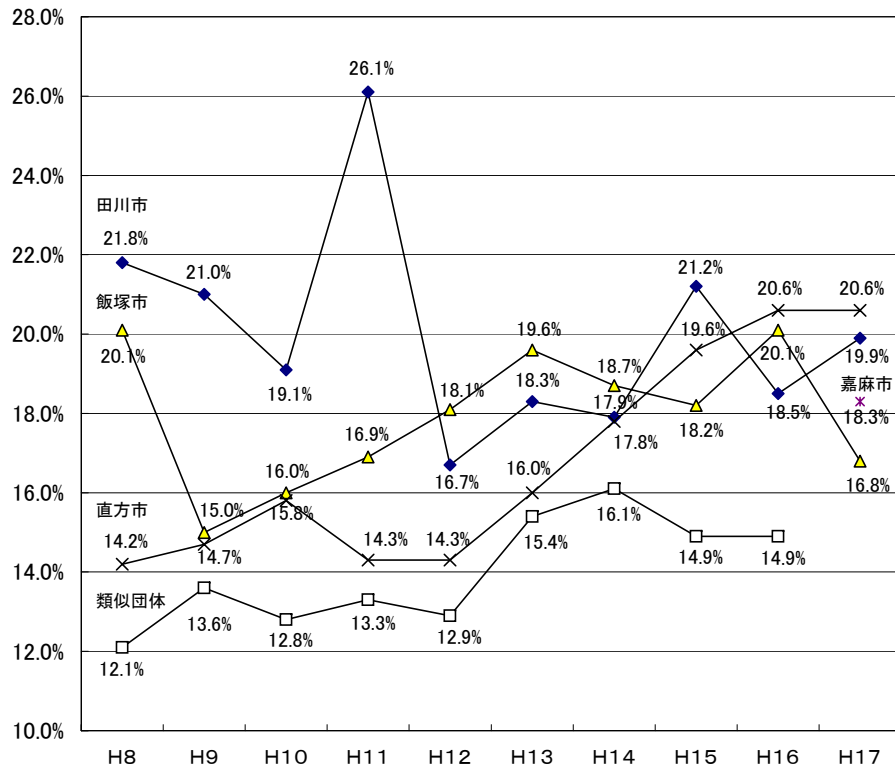


経常的に収入される一般財源収入が経常的経費にどれだけ充当されたかを示す指標。財政構造の弾力性を表す指標で、数値が大きいほど硬直化が進んでいる。近年、財政悪化を反映して硬直化が著しく進んでおり、県内平均では、都市・町村ともに90%前後を推移しており、経常的収入の確保、経常的経費の抑制により一層努めなければならぬ。

- ※ 田川市の類似団体の分類がⅡ-4(12年度まで)からⅠ-5(13年度)へ変更となった。
- ※ 飯塚市は、平成18年3月26日に1市4町(飯塚市・穂波町・筑穂町・庄内町・頼田町)が合併し、誕生した。
- ※ 嘉麻市は、平成18年3月27日に1市3町(山田市・稻築町・碓井町・嘉穂町)が合併し、誕生した。

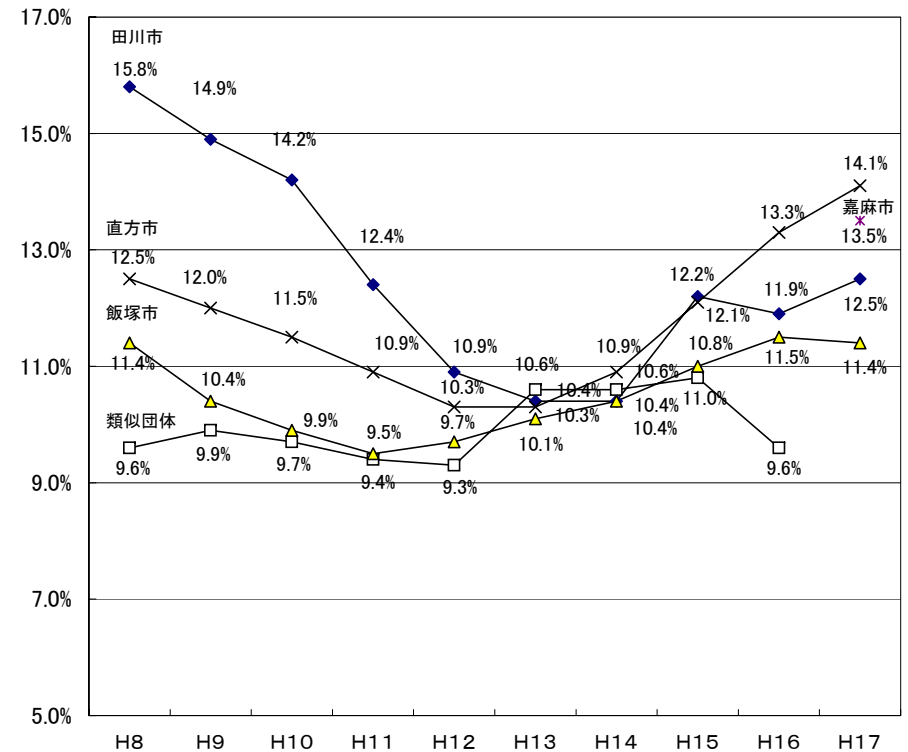
基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値。数値が1を超えると普通交付税の不交付団体となる。数値が1に近いほど留保財源が多くなり、財源的に余裕があるといえる。公共事業に係る経費について国の負担割合の引き上げ適用団体を定める基準に用いるなど、国が各種財政援助措置を行う場合の判断指標になっている。

公債費負担比率の推移



公債費に充当された一般財源の一般財源総額に占める割合。
この比率が高いほど、財政運営の硬直性の高まりを示しており、一般的に、財政運営上15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。
平成11年度をピークに、以後低下しているが、依然として警戒ラインを脱しきれていない。
公債費負担比率を下げるには、地方債残高を減少させるしかなく、計画的に減債基金(公債債の償還を目的とした基金)の積み立てや既発債の繰上償還、地方債の借入抑制など長期的視点で問題を解決していく必要がある。

起債許可制限比率の推移



公債費充当一般財源から公債費のうち普通交付税で措置された額を控除した金額を、標準財政規模からその普通交付税措置分を控除した金額で除した指数。
起債許可を制限するための指標となっている。

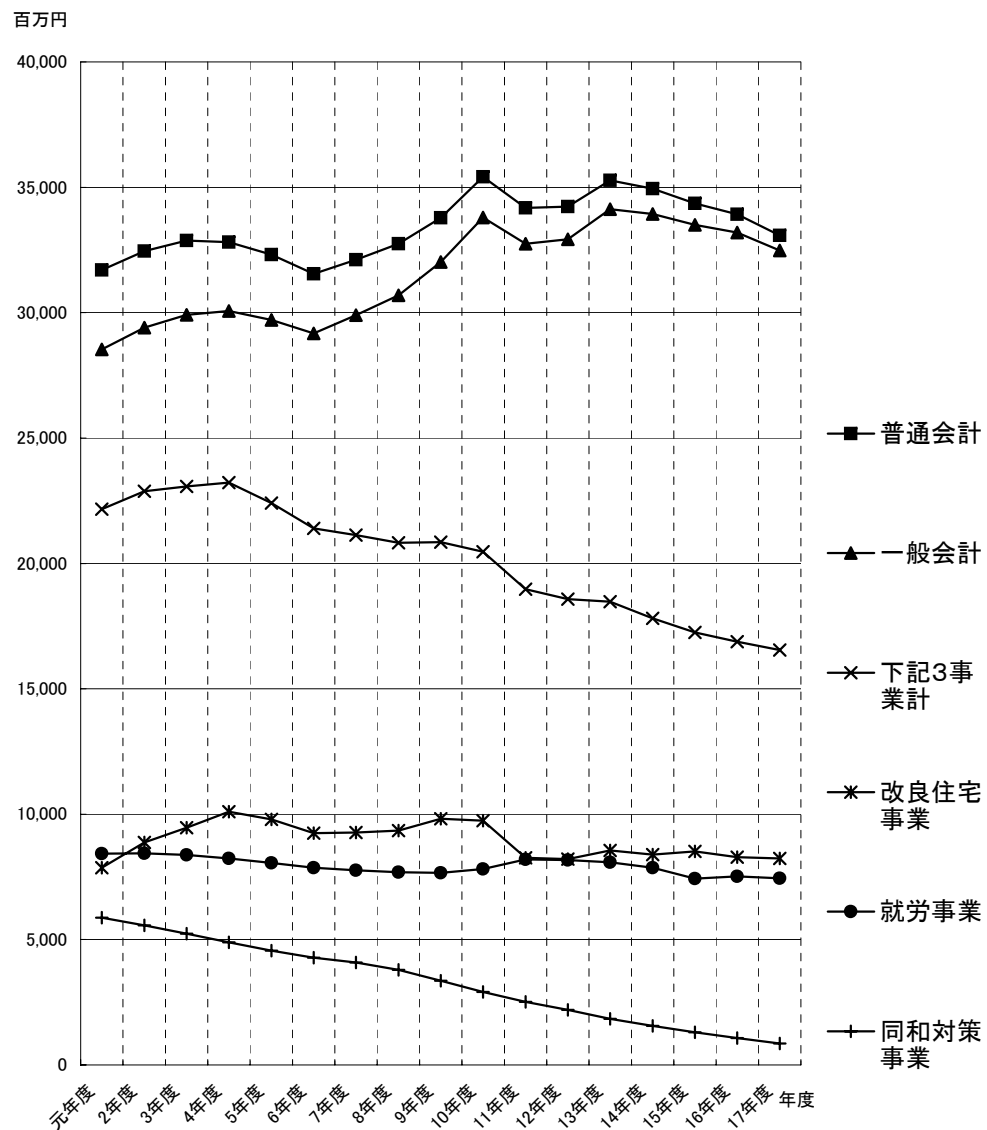
20%以上30%未満の団体

一般単独事業に係る地方債が許可されない。

30%以上の団体

一般事業債(災害関連事業を除いたほとんど全ての地方債)が許可されない。

年度別起債現在高の推移



(単位:百万円)

年度	普通会計	一般会計	下記3事業計	改良住宅事業	就労事業	同和対策事業
元年度	31,699	28,541	22,170	7,867	8,427	5,876
2年度	32,454	29,408	22,883	8,873	8,442	5,568
3年度	32,878	29,909	23,075	9,461	8,381	5,233
4年度	32,813	30,064	23,227	10,103	8,237	4,887
5年度	32,317	29,706	22,411	9,797	8,053	4,561
6年度	31,551	29,177	21,403	9,249	7,871	4,283
7年度	32,109	29,902	21,124	9,273	7,763	4,088
8年度	32,754	30,687	20,823	9,343	7,692	3,788
9年度	33,778	32,023	20,843	9,815	7,665	3,363
10年度	35,421	33,794	20,460	9,738	7,812	2,910
11年度	34,175	32,745	18,977	8,261	8,195	2,521
12年度	34,231	32,933	18,577	8,210	8,165	2,202
13年度	35,273	34,124	18,468	8,549	8,078	1,841
14年度	34,939	33,936	17,812	8,390	7,859	1,563
15年度	34,351	33,497	17,246	8,513	7,427	1,306
16年度	33,923	33,194	16,874	8,285	7,519	1,070
17年度	33,078	32,477	16,543	8,241	7,441	861

公債費に関する年度別決算状況

(単位:千円、%)

区	分	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		
		金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	
借入額	A	2,641,200	△ 4.8	3,262,500	23.5	3,386,200	3.8	3,820,800	12.8	4,294,200	12.4	4,172,900	△ 2.8	986,900	2,636,300	△ 36.8	3,926,400	48.9	2,491,712	△ 36.5	2,912,100	16.9	2,551,200	△ 12.4	2,244,600	△ 12.0
償還額	元金	3,406,915	4.2	2,729,725	△ 19.9	2,741,736	0.4	2,796,197	2.0	2,651,924	△ 5.2	5,418,397	104.3	2,957,554	2,589,124	△ 52.2	2,885,302	11.4	2,824,914	△ 2.1	3,500,979	23.9	2,979,027	△ 14.9	3,088,981	3.7
	利子	1,835,660	△ 3.4	1,752,381	△ 4.5	1,682,525	△ 4.0	1,588,912	△ 5.6	1,493,610	△ 6.0	1,324,045	△ 11.4	942	1,166,508	△ 11.9	1,104,141	△ 5.3	1,040,955	△ 5.7	953,076	△ 8.4	881,490	△ 7.5	802,375	△ 9.0
	計	D=B+C	5,242,575	1.4	4,482,106	△ 14.5	4,424,261	△ 1.3	4,385,109	△ 0.9	4,145,534	△ 5.5	6,742,442	62.6	2,958,496	3,755,632	△ 44.3	3,989,443	6.2	3,865,869	△ 3.1	4,454,055	15.2	3,860,517	△ 13.3	3,891,356
特定財源	E	1,716,068	16.6	1,071,099	△ 37.6	894,621	△ 16.5	959,408	7.2	1,027,624	7.1	970,580	△ 5.6	*****	982,254	1.2	963,035	△ 2.0	1,037,518	7.7	1,032,888	△ 0.4	1,023,387	△ 0.9	893,890	△ 12.7
(繰上償還分特定財源)		*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	986,900	—	986,900	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****
普通交付税算入額	F	1,631,498	2.6	1,629,813	△ 0.1	1,784,355	9.5	1,523,449	△ 14.6	1,542,490	1.2	1,492,472	△ 3.2	*****	1,530,641	2.6	1,630,378	6.5	1,585,202	△ 2.8	1,608,802	1.5	1,605,252	△ 0.2	1,586,544	△ 1.2
純負担分	G=D-E-F	1,895,009	△ 10.1	1,781,194	△ 6.0	1,745,285	△ 2.0	1,902,252	9.0	1,575,420	△ 17.2	3,292,490	109.0	1,971,596	1,242,737	△ 62.3	1,396,030	12.3	1,243,149	△ 11.0	1,812,365	45.8	1,231,878	△ 32.0	1,410,922	14.5
歳出に占める公債費の割合		17.0		14.0		14.2		13.3		11.9		18.9	*****	11.6		10.3		13.7		15.3		13.8		14.0		
年度末起債現在高(ア)		31,551,100	△ 2.4	32,109,275	1.8	32,753,739	2.0	33,778,342	3.1	35,420,618	4.9	34,175,121	△ 3.5	*****	34,231,497	0.2	35,272,595	3.0	34,939,393	△ 0.9	34,350,514	△ 1.7	33,922,688	△ 1.2	33,078,307	△ 2.5
上記のうち交付税算入額		12,115,438 (38.4)		12,429,145 (38.7)		12,528,799 (38.3)		12,976,035 (38.4)		13,850,320 (39.1)		13,969,679 (40.9)	*****	14,187,644 (41.4)		14,798,527 (42.0)		15,096,302 (43.2)		15,377,375 (44.8)		15,522,404 (45.8)		15,378,406 (46.5)		
()は年度末現在高(ア)との割合																										
標準財政規模		12,898,482	△ 0.8	13,388,151	3.8	13,519,213	1.0	13,509,976	△ 0.1	13,606,498	0.7	13,872,067	2.0	*****	13,966,530	0.7	13,706,682	△ 1.9	12,942,739	△ 5.6	12,443,310	△ 3.9	12,558,951	0.9	12,746,407	1.5
公債費負担比率		22.2		21.1		21.8		21.0		19.1		26.1	*****	16.7		18.3		17.9		21.2		18.5		19.9		
公債費比率		21.8		20.4		21.0		19.8		18.6		16.0	*****	15.6		17.3		16.5		21.1		16.6		17.6		
起債制限比率		17.1		16.7		15.8		14.9		14.2		12.4	*****	10.9		10.4		10.4		12.2		11.9		12.5		